

テザープレワールド 練習会報告

2016年7月28日
村岸

(1) スケジュール、実施内容

開催日：2016年7月22日

時間	内容
12:30	・ブリーフィング
13:00	・各チーム出艇 ・各艇帆走練習
13:50～	・スタート練習 ★5分周期で4回実施
14:20～15:40	・コース練習 ★1レース約20分×3本 ★コース 上ーサイドー下ー上ー下 回り込みフィニッシュ
16:00	・着艇
17:00～17:40	・練習会の振り返り ★ハーバーで、Ridgeway、Peter Ellis の艇を囲んで実施 ★Ridgeway、Peter Ellisのチームに質問する形式とした

(2) 参加艇数：8艇

(3) 風の傾向

- ・風向：140°～150°
- ・風速：平均7～8m/s min5～6m/s、max10m/s
- ・波：高く、汚い(さまざまな方向からの波が入り乱れる感じ)
- ・振れ幅：10～15°の振れ幅で、同じような傾向で振れる

(4) 練習会の振り返り(質問会)の内容

- ・2011年イギリスワールドでチャンピオンとなった、Ridgeway夫妻チームへ質問する形式とした。質問内容によって、Peter Ellisが回答する場面もあった。これらはスキッパーであるPaul Ridgeway選手のコメントであり、チーム体重が150kgと重いことを前置きした上で行われた。なお、Peter Ellisのチームは体重137kgとのこと。

<p>・蒲郡の波への対処について</p> <p>少し後ろに乗る、クルーとスキッパーが近づいて乗る。艇のボトム真ん中から後ろを使って波乗せするイメージ。Ridgeway選手のオーストラリアのホームウォーターも波が高い。</p>
<p>・アップウィンドでのメインセールトリム</p> <p>セールを出す局面になるとトラベラーシーティングのみ。セールカーブを活かすため。バングは使わない。カニンガムを使う。レバーがかえってこないように、抑える意味合いではバングを使う。カニンガムは、風が上がってくればかなりタイトに使う。</p>
<p>・ダイヤモンドステイ</p> <p>調整が重要。150kgのRidgewayチームは、マストのアイから5～10cm下、137kgのPeter Ellisのチームはアイの位置くらい。いつも一緒に練習しているオーストラリアの130kgのチームは、アイの上5～10cmくらいを使っている。</p>
<p>・ジブセール</p> <p>クルーは真ん中と、下2の2つのポイントを使っている。リーダーは5つ出しまで使う。5つ出す場面はほとんどない。3つ出しまでがほとんどのケース。</p>
<p>・サイドステイのテンション</p> <p>強風時に、サイドステイのテンションを緩めることはしない(軽量チームから緩めるかの質問に対して回答)。軽量チームが強風時にどう対処すればよいかの質問に対して、Ridgeway選手は、とにかくビールを飲んでたくさん食えと言っていた(すみません、冗談です)。Peter Ellis選手は、とにかくカニンガムを強く引くことが重要だと回答。</p>
<p>・リーチングにおけるジブリーダー</p> <p>リーチングでジブリーダーは、一番外のみを使う。どのようなコンディションでもそう。迷わず外まで出す。</p>
<p>・ジブの高さ</p> <p>引き込んだ時にデッキにセールのボトムがつくくらい。</p>
<p>・その他</p> <p>ワールド地での前年の大会にRidgeway選手が毎回参加することに関して、宿泊や移動、食事、海面など環境に慣れるためと説明。</p>

以上